

XE-A407/417

PLU/JAN 一括登録ソフト

操作手順書

— 第2版 —

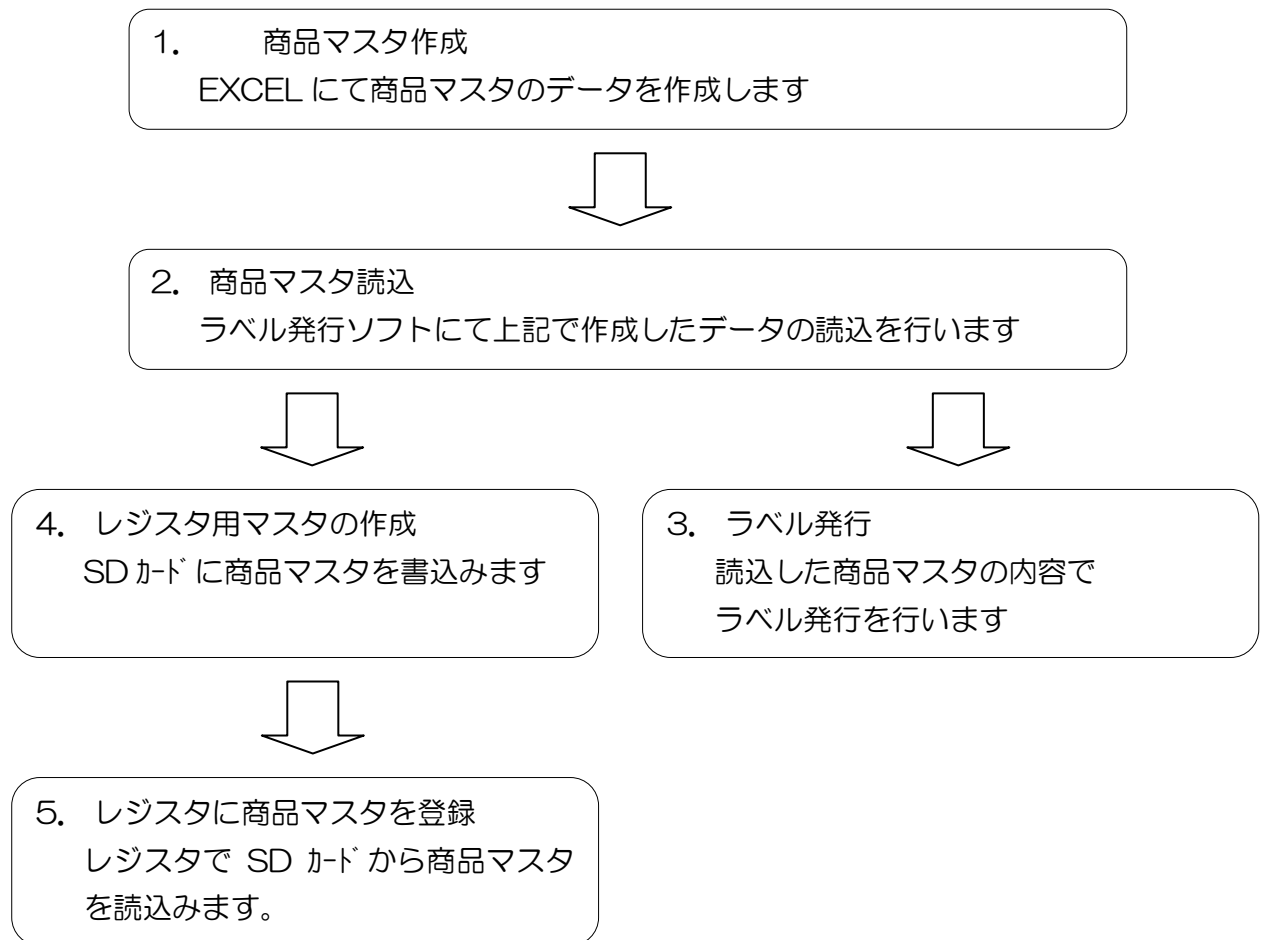
【改版履歴】			
Ver1.0	2012/02	初版	
Ver1.1	2012/10	第2版	ラベルフォーマット初期値を変更

目次

商品マスタ作成から、ラベル発行及びレジスタへのマスタファイル出力の作業手順.....	3
1. 概要.....	3
2. SDカードの初期化.....	4
3. 商品マスタファイルの作成.....	6
4. XE-A407/417用PLU/JAN一括登録ソフト 画面説明.....	8
5. レジスタ用マスタの作成.....	9
6. ラベル発行.....	15
7. バーコードの分類.....	17
8. 【設定】ボタンの説明.....	18
9. お店独自のバーコードを発行したい場合.....	19
10.FAQ.....	24

商品マスタ作成から、ラベル発行及びレジスタへのマスタファイル出力の 作業手順

1. 概要



2. SDカードの初期化

SDカードを最初に使用する場合はレジにて初期化の作業を行う必要があります。


使用できるSDメモリーカード

データのやり取りにはパソコン側にSDカードリーダーが必要です。SDメモリーカードの場合は1GBまたは2GB、SDHCメモリーカードの場合は4GBの市販品をレジスタで初期化(≒144ページ)してから使用してください。SDカードについては、当社基準において、パナソニック製、東芝製、サンディスク製のSDカード(1GBおよび2GB)・SDHCカード(4GB)の動作確認をおこなっております。ただし、動作確認をしたすべてのSDカードについて、動作保証するものではありません。動作確認状況については、シャープサポートページ(<http://www.sharp.co.jp/support/ecr/>)をご確認ください。


なお、miniSDカード、microSDカードは使えません。



■ SDメモリーカードの初期化



新しくSDメモリーカードを購入したときや、すでにお持ちのSDカードを初めてレジスタで使用する時、SDメモリーカードに記憶されている内容をすべて消去してしまいたいときは、レジスタでSDメモリーカードを初期化します。



- ご注意**  ・SDメモリーカードは購入時に初期化の作業が必要ですが、その後は、何度も初期化する必要はありません。データが保存されているSDメモリーカードを初期化すると、カードに保存されているフォルダおよびデータはすべて消去されてしまいます。
・2台目以降のレジスタで同じSDメモリーカードを使用する場合、初期化の必要はありません。



1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。



2 登録モードで  を押します。 


3 「SDカード」を選択します。  または 

 メニュー番号を入力して選択することもできます。  で次の画面へ

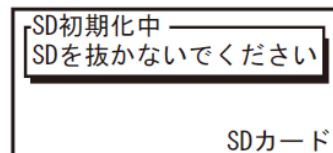
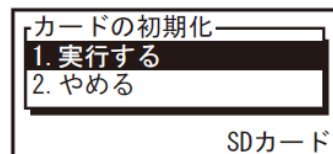
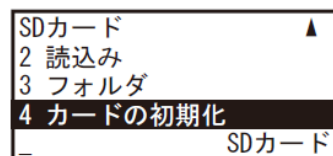
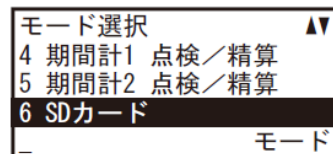
4 「SDカード」メニューから「カードの初期化」を選択します。  または 

 メニュー番号を入力して選択することもできます。  で次の画面へ

5 「実行する」を選択します。  または 




初期化中、右の画面が表示されます。右の画面が非表示になると、初期化は終了です。



■ フォルダの作成

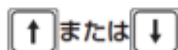
SDメモリーカードに、フォルダを作成します。複数のフォルダを作成して、フォルダごとに保存するデータを使い分けることができます。フォルダは200個まで作成できます。

1 SDメモリーカードをSDカードスロットに差し込みます。

2 登録モードで  を押します。

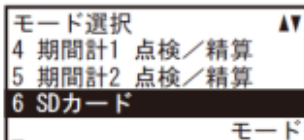


3 「SDカード」を選択します。

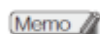
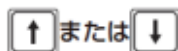


メニュー番号を入力して選択することもできます。

 で次の画面へ

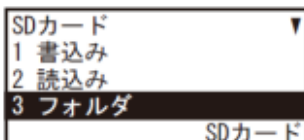


4 「SDカード」メニューから「フォルダ」を選択します。




メニュー番号を入力して選択することもできます。

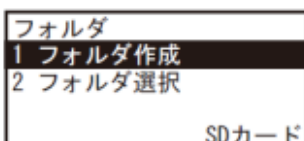
 で次の画面へ



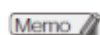
5 「フォルダ作成」を選択します。



 で次の画面へ



6 フォルダ名を入力します。
(最大8文字) (文字入力)




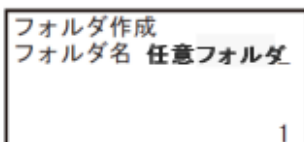
入力できる文字は、次のとおりです。

- ・大文字の英字：A-Z
- ・数字：0-9
- ・次の記号：!, #, \$, %, &, (,), -, @, _

文字の入力方法は、「文字の入力方法」(P.75ページ)を参照してください。

表示はフォルダ名を「任意フォルダ」に設定したときの例です。

 で次の画面へ

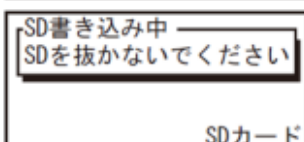
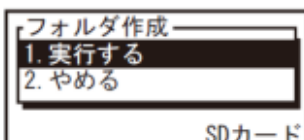


7 「実行する」を選択します。





書き込み中、右の画面が表示されます。右の画面が非表示になると、書き込みは終了です。



3. 商品マスタファイルの作成

Excelにて、商品マスタのデータを作成します。

商品マスタ作成

Excelなどでマスタを一括で作成して、CSV形式で保存してください。

データレイアウトは以下の通りです。

【商品マスタ作成例題】

PLU/JANコード	名称	単価	部門 CD
2736020	ラッキー S・R	320	1
2798321	ラッキー S・M・R	320	1
2757722	ケルミック 8B	330	1
2725325	ケル	320	1
43306367	カルトワ・MS	320	1
2722027	ケル・ブー -スト 5B	330	1
2725228	ケル・FK・B	320	1
2725529	ケル・M・FK	320	1
49401233	テグー -・BOX	300	1
2725529	ケルマイルド FK	320	1
27200014859	ラッキー MenL テグ 20P	3200	1
27200018314	ケト Ex3100B 10P	3000	1
27200174447	ケト UMenB 20P	4200	1

データヘッダー部

データの始まり

●商品コードは13桁 JAN 又は8桁 JAN で作成します。

データ作成する時の注意事項

【PLU/JANコード】

- 13桁以内の半角数字で作成して下さい。
- PLU/JANコードを作成する時には、全てのPLU/JANコードを「チェックデジット付」か「チェックデジット無」に統一したデータにしてください。
- その他、詳しい注意点は「[バーコードの分類\(P17\)](#)」を参照して下さい。

【名称】(商品名)

- 全角8文字で、半角16文字以内で作成して下さい。
これ以上の長さがある場合は自動的に8文字又は16半角以内の長さに先頭文字からカットされます。

【単価】(商品価格)

- 0 ~ 999999 以内の範囲で作成してください。

【部門CD】

- 部門CDはこの商品が該当する部門コードと紐付けます。
紐付け処理を行わなかった場合は、レジ集計データ上に現れませんのでご注意ください。

以上のことに注意してデータを作成して、CSV形式で保存してください。

また、元データは Excel 形式で保存してください。

CSV 形式のデータを修正することは行わないでください。

ファイル作成時の注意事項

Excel ソフトで作成したデータは、保存形式が CSV という拡張子で保存してください。

例： JAN マスタ.CSV という名前です。

JAN マスタ . CSV
自由に作成 この部分は CSV で必ず保存

一度、保存した CSV 形式のファイルを再度、編集、保存する場合は JAN コードが以下の状態のままで操作を行わないでください。

データが正しく作成されません。(赤い色の部分)

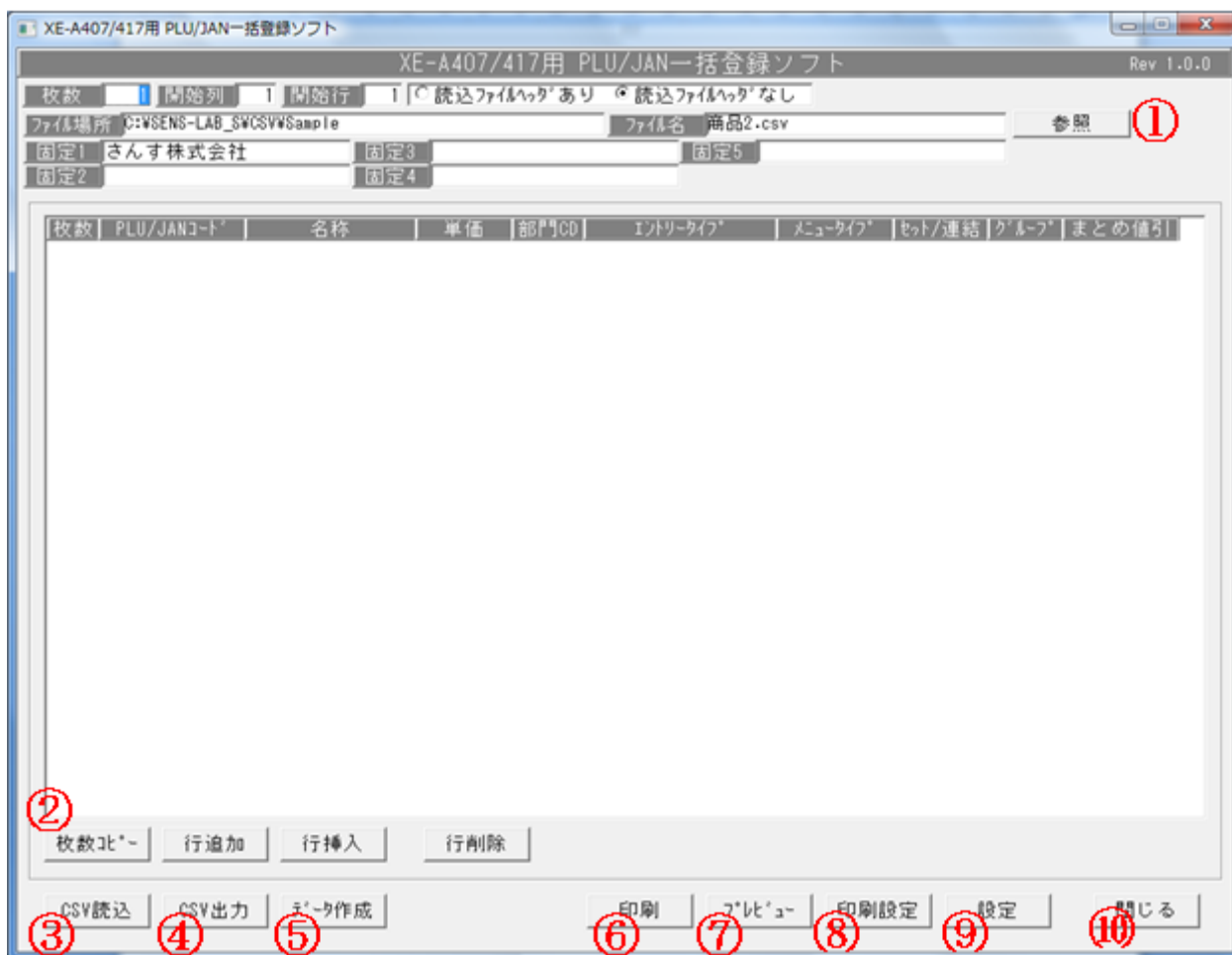


商品コード	商品名称	部門コード
1.2345E+12	スポーツ新聞	1
1.2345E+12	日刊新聞	1
1.2345E+12	ストッキング(黒)	7
1.2345E+12	ミルクチョコレート	5
1.2345E+12	カップラーメン醤油(1.5)	4
1.2345E+12	カップラーメン塩(1.5)	4

1.2345E+12 を正常な値で表示する方法は、Excel で「セルの書式設定 (F)」で表示形式を (数値) を選んでください。

4. XE-A407/417 用 PLU/JAN 一括登録ソフト 画面説明

PLU/JAN 一括登録ソフトを起動すると図の様な画面が表示されます。



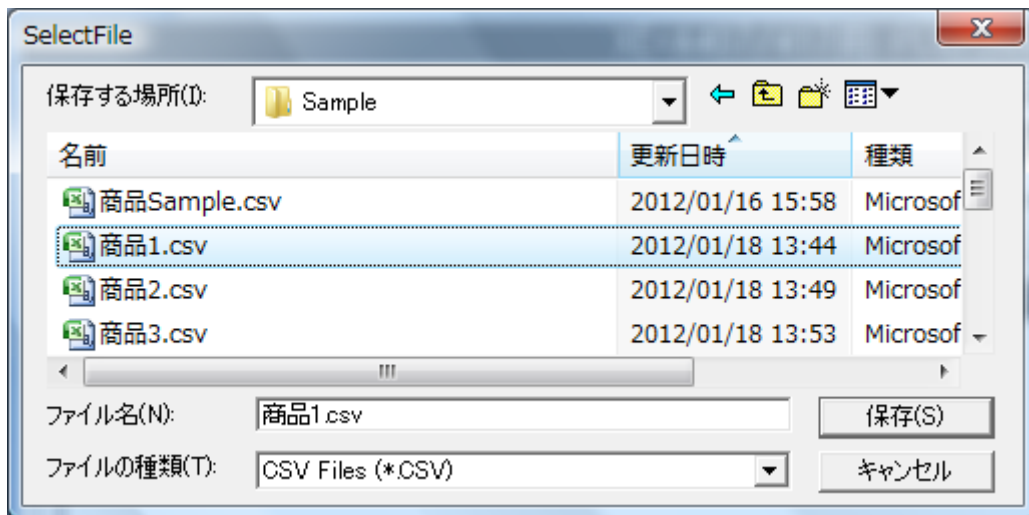
簡易ボタン説明

- ① 【参照】 作成した商品マスタ CSV ファイルを参照します。
- ② 【枚数コピー】 選んだ商品コードのバーコード発行枚数を基準にその行より下の全てのデータの枚数の数値に反映します。
- ③ 【CSV 読込】 参照ボタンにより参照している CSV ファイルを画面へ読み込みます。
- ④ 【CSV 出力】 表示及び取込んだデータを編集して、再度 CSV データで保存する時に使用します。
- ⑤ 【データ作成】 XE-A407/417 用 SD カードヘデータを一括変換し、保存するボタンです。作成場所は、SD カード以外への保存も可能です。
- ⑥ 【印刷】 バーコードシールなどへの印刷ボタンです。
- ⑦ 【プレビュー】 印刷イメージを表示します。
- ⑧ 【印刷設定】 プリンターを指定します。通常プリンター又は、指定プリンターの設定を指示します。
- ⑨ 【保存設定】 いろいろな設定を行います。(詳細は「[【設定】ボタンの説明\(P18\)](#)」を参照)
- ⑩ 【閉じる】 ソフトを終了します。

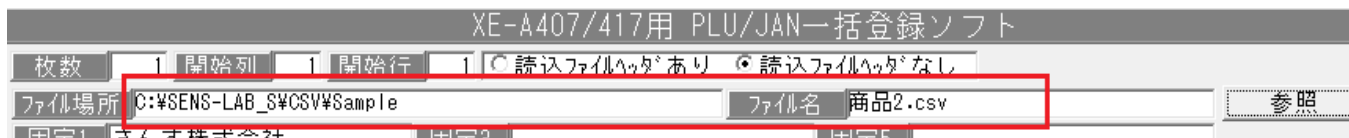
5. レジスタ用マスタの作成

SDカードに商品マスタを書込みます。

- (1) XE-A407/417 用一括登録ソフト画面を開いたら①(P.8)の参照ボタンを押します。



- (2) 作成した CSV ファイルを選択し、保存ボタンを押します。



(3) 画面上部に CSV ファイルの保存先とファイル名が表示されますので、

② (P.8) の CSV 読込ボタンを押します。



(4) 正常に取り込まれた場合、商品一覧が画面に表示されます

◆枚数、開始行、開始列

この項目は一般のタグシールなどを使用する時に便利な機能です。

バーコードラベル発行機を使用する場合は枚数: 1、開始列: 1、開始行: 1、を指定します。

一般のタグシールを使用する場合は発行枚数と、印字開始位置の指定を行います。

◆（読込ファイルヘッダあり）（読込ファイルヘッダなし）

CSV でデータを作成した時に、JAN コード、商品名などヘッダーを付けたまま作成し取込む場合は、**あり**を指定します。

ヘッダーなしの場合は、**なし**を指定します。

◆ファイル場所とファイル名

CSV で作成したマスタの場所とその名称を表示します。

任意の場所に作成した場合は、ファイル名の右の参照ボタンで CSV ファイルを指定してください。

◆固定1 から固定5

印字対象全ての行に反映する任意の文字を入力します。

(ex) 店舗など

文字数はシールの大きさに依存しますので、調整を行ってください。

(5) 編集した CSV ファイルを保存する場合は

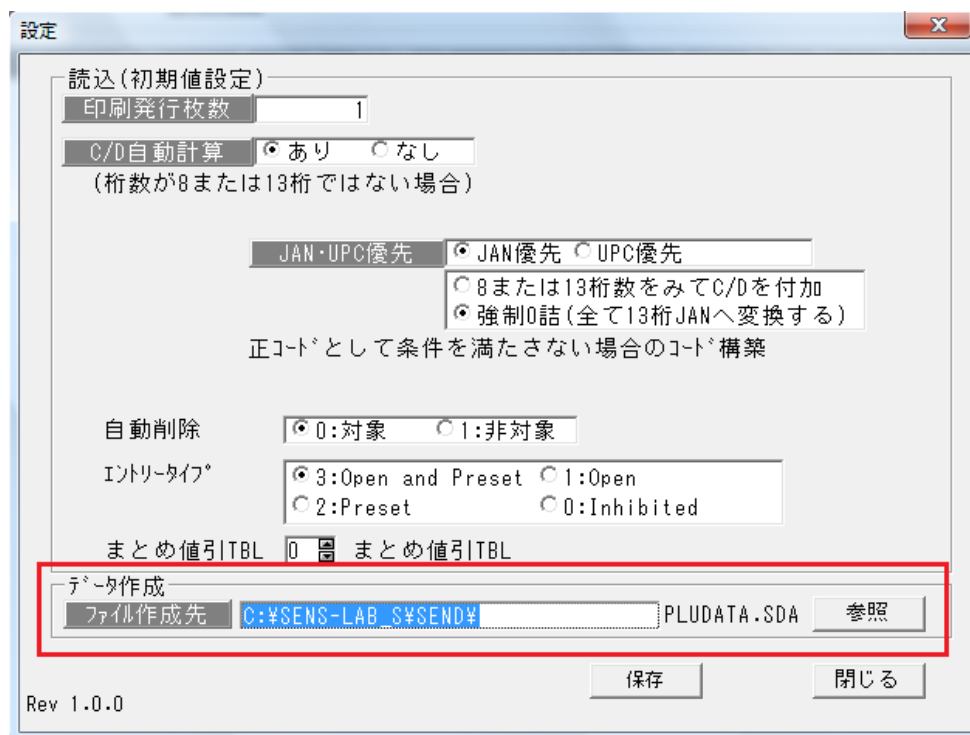
④ (P.8) CSV 出力ボタンを押すことで取込 CSV と同じ形式で保存する事が出来ます。

はい → 上書き

いいえ → 別名で保存

(6) レジ用のデータの保存先を設定します。

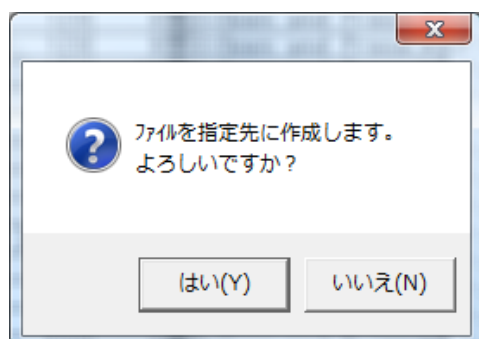
⑨ (P.8) 設定ボタンを押し、設定ウィンドウを開きます。



- データ作成の項目の参照ボタンを押しレジ用のデータの作成先を設定します。
- 保存ボタンを押し設定を完了します。(他設定の詳細は「[【設定】ボタンの説明\(P18\)](#)」を参照)

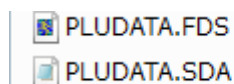
(7) レジ用のデータを作成します

⑤ (P.8) データ作成ボタンを押します。

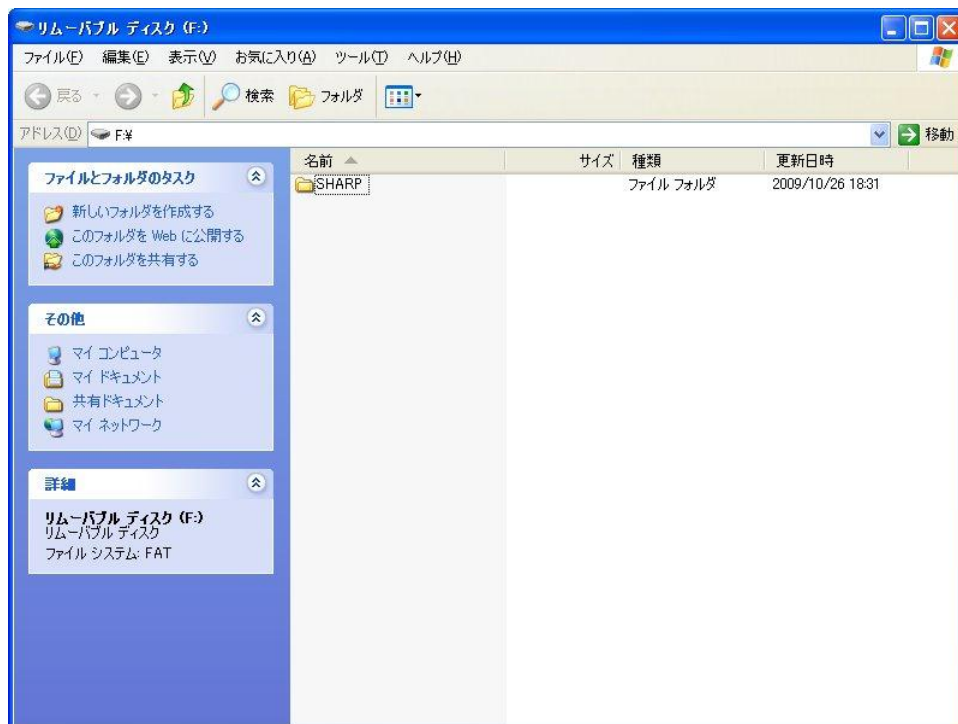


確認メッセージが表示されるので「はい(Y)」を選択します。

設定の保存先に PLUDATA.SDA、PLUDATA.FDS ファイルが作成できていれば成功です。



- (8) レジ用のデータをSDカードへ保存します
準備したSDカードをPCにさします。



作成したデータ2つ

PLUDATA.FDS

PLUDATA.SDA

のファイルをコピーして次の場所に張り付けます。

【SDカードのドライブ】 ¥SHARP¥ECRXXX13¥レジで作成したフォルダ ¥PROGRAM

リンク
メント

名前	更新日時	種類
ECRXXX13	2012/02/07 15:32	フォルダ

リンク
メント

J:¥SHARP¥ECRXXX13

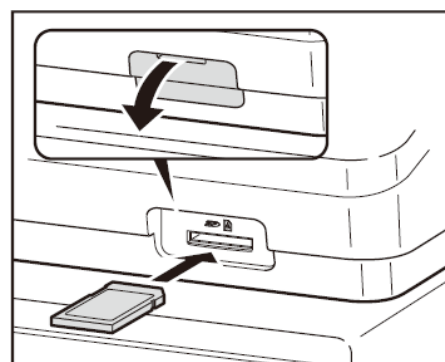
表示 書き込む

名前	更新日時	種類
TEST	2012/02/07 15:32	フォルダ

名前	サイズ	種類	更新日時
ALL		ファイル フォルダ	2010/03/12 9:32
EJ		ファイル フォルダ	2010/03/12 9:32
PROGRAM		ファイル フォルダ	2010/03/12 9:32
SALES		ファイル フォルダ	2010/03/12 9:32

(8) レジにてマスターデータの読込を行います

1. SD カードをレジの SD カードスロットに差し込みます。



2. 売上登録モード（トップ画面）で
モード切替ボタンを押すと右の図のように
モード選択画面に切り替わります。

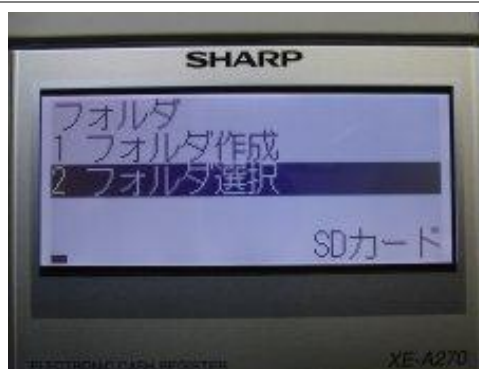
SD カードを選択して現／預／替ボタンを押します。



3. SD カードのメニューからフォルダを選択して
現／預／替ボタンを押します。



4. フォルダのメニューからフォルダ選択を選択して
現／預／替ボタンを押します。



5. フォルダ選択メニューに予め作成したフォルダが表示
されます。

CSV ファイルから作成された SD カード用ファイル
（拡張子が FDS、SDA のファイル）の保存先フォルダ
を選択して現／預／替ボタンを押します。



6. **強制解除**ボタンを押して SD カードメニューへ戻ります。

続けて SD カードメニューから読み込みを選択して **現/預/替**ボタンを押します。



7. 読み込みメニューから設定（個別）を選択して **現/預/替**ボタンを押します。



8. 設定（個別）メニューから PLU/JAN 設定を選択して **現/預/替**ボタンを押します。



9. 実行するを選択して **現/預/替**ボタンを押します。

>表示が左から右へ移動するイメージで進行状況を示します。

表示が消えますと読み込み完了です。



10. 売上登録画面（トップ画面）に戻るまで **強制解除**ボタンを押します。

ハンドスキャナ等で読み取りテストを行ってください。

6. ラベル発行

読込した商品マスタの内容でバーコードラベル発行をします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	イントリタイプ	メニュータイプ	セット/連結	カールフ	まとめ値引
1	27360200	ラッキーS・R	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27983218	ラッキーS・M・R	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27577226	カールミックス8B	330	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27215234	カールフrostB	330	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27924242	ラッキーS・FK	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27253250	カール	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	43306367	カールフ・MS	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27220276	カールフrost5B	330	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27252284	カール・FK・B	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27255292	カール・M・FK	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	49401233	テナントBOX	300	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	27255292	カールマイルFK	320	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272000148598	ラッキーMenLテンス20P	3,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272000183148	カントEx3100B10P	3,000	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272001744478	カントUMenB20P	4,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272001744546	カントSPMenB20P	4,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272005085942	カールフルメタル10P	3,200	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0272005088844	カールフrostB10P	3,300	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
0	00001	PLU1	1,234	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	12345656	UPC-E0123456	123,456	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	12345670	JAN1234567	2,222	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	49400403	マイルセブン	300	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0012345678950	UPC-A123456789	12	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	0123456789050	UPC-A1234567890	123	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	1234567890128	JAN-12345678901	12,345	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0
1	4902210102306	マイルセブンカント	3,000	1	3:Open and Prese	ノーマル	0	0	0

赤い口の枚数が印刷時のラベル発行枚数です。

枚数 1 開始列 3 開始行 2

ファイル場所 C:\SENS-LAB_S\CSV\Sample

固定1 株式会社サンス 固定

固定2 03-3251-4522 固定

【枚数】

枚数を設定した状態でCSV読込を行うと全てのコードの初期枚数を設定ボタンで設定した値で読みます。

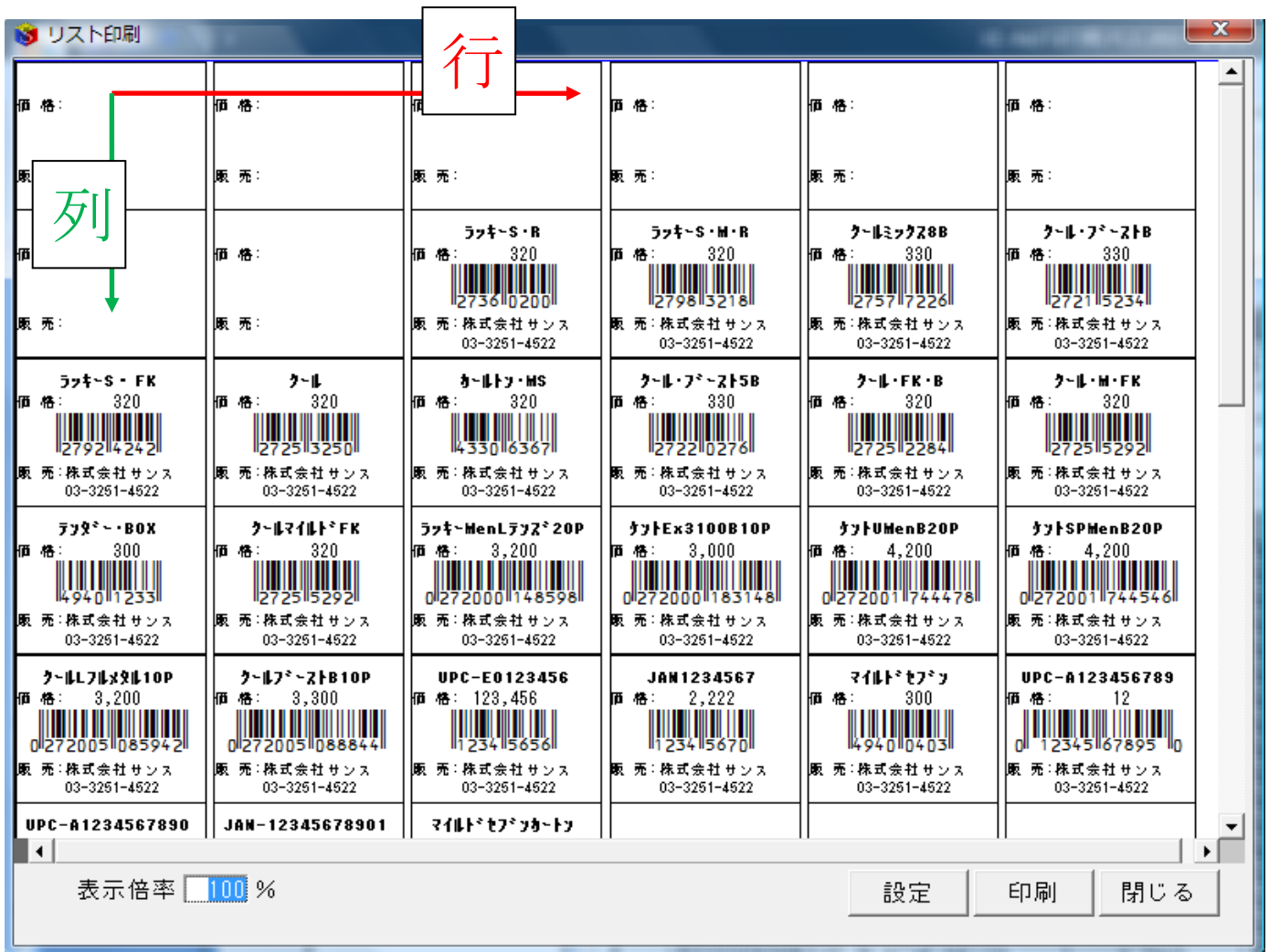
【開始列】【開始行】

バーコードラベル印刷時の開始列と開始行を設定します。

【固定1】【固定2】

バーコードラベル印刷時に表示される文字列を設定します。







【プレビュー】ボタンを押すと、図のような印刷イメージ画面が表示されます。
ラベルを発行する場合は、【印刷】ボタンを押します。

7. バーコードの分類



【 JAN (ジャン) 】

「桁数について」:桁数は13桁(コード12桁 + チェックデジット[CD]1桁)又は短縮タイプの8桁(コード7桁 + CD1桁)があります。なお、8桁の短縮タイプは日本だけの規格のため国外では使用できません。また、桁数は固定のためユーザーが自由なデータ構成を選択することもできません。

JAN13		国コード	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		49	71633	00200	5
JAN8		国コード	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		49	4007	6	2

【 UPC (ユーピーシー) 】

「桁数について」:UPCコードには、12桁のUPC-A(コード11桁 + CD1桁)と8桁のUPC-E(コード7桁 + CD1桁)の2種類があります。

UPC-A		NS(1桁)	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		0固定	12345	67890	5
UPC-E		NS(1桁)	メーカーコード	アイテムコード	チェックデジット
		0	2825	7	0

【独自コードを作成して本ソフトから読み込む場合】

コードの例：

桁数	変換前(連番)	JAN 優先変換	UPC 優先変換
6桁	111118	01111187	01111187
	111119	01111194	00111119
7桁	1231233	12312337	01231233
	1231234	12312344	02312343
9桁	111111114	000111111142	000011111114
	111111115	0001111111159	0001111111159
10桁	1111111111	001111111110	0001111111111
	1111111112	0011111111127	0011111111127
11桁	12312312312	0123123123125	0123123123125
	12312312313	0123123123132	0012312312313
12桁	101000300004	1010003000043	1010003000043
	101000300005	1010003000050	0101000300005

※JAN 優先変換を行うと、原本コードの統一性を保つことが可能です。

※UPC 優先変換を行うと、原本コードが連番のコードを変換してもコードが変わる場合があります。

※コードの一部または全体に一定のルールを持たせたコードを作成されたい場合は JAN 優先変換を推奨いたします。

8. 【設定】 ボタンの説明

The screenshot shows the '設定' (Settings) dialog box with the following sections and callouts:

- 読込 (初期値設定)**
 - 印刷発行枚数: 1 (Callout: バーコード発行枚数 初期値)
 - C/D自動計算: あり なし (Callout: CSV 取込データが チェック デジットあり又は 無の指定をします。)
- JAN・UPC優先**
 - JAN優先 UPC優先 (Callout: 1)
 - 8または13桁数をもてC/Dを付加
 - 強制0詰 (全て13桁JANへ変換する)
 - 正コードとして条件を満たさない場合のコード構築
- 自動削除**
 - 0:対象 1:非対象
- エントリータイプ**
 - 3:Open and Preset 1:Open
 - 2:Preset 0:Inhibited
- まとめ値引TBL**
 - まとめ値引TBL
- データ作成**
 - ファイル作成先: C:\SENS-LAB\S\$SEND¥ (Callout: XE-A407/417 データ保存先指定 ①SD カードフォルダー名 ②または C ドライブに予め作成したフォルダ)
 - PLUDATA.SDA 参照

Buttons: 保存, 閉じる

Rev 1.0.0

【読込初期値設定】

この項目は、SD カードへデータを変換する時に指定します。

基本的には変更必要はありません。この項目はレジの運用に係るものです。

この項目で表示している名称や用語は、レジのマニュアルと同じものを使用しております。

《自動削除》対象・非対象はレジ内部設定で JAN コードの有効期間内に、対象 JAN コードが未使用なら、削除するか、しないかを設定するものです
(詳細はレジマニュアルを参照してください。)

《エントリータイプ》通常は、3番のオープンプリセットをご使用ください。
(詳細はレジマニュアルを参照してください。)

《まとめ値引 TBL》JAN 商品をまとめ値引き対象として登録するかどうかを指定します。
(詳細はレジマニュアルを参照してください。)

1 の項目についての注意事項

- (1)既にバーコードが付いている場合は C/D 自動計算なしで読み込んでください。
- (2)C/D の自動計算は不要で、バーコードの手入力が必要な海外タバコと輸入商品で 6 桁以上 12 桁以下の商品コードを使用する場合は、UPC 優先に設定してご使用ください。コードが変わってしまいます。
- (3)一方、自社商品や6桁以上のコードを JAN として取り扱って且つ、バーコードを作成したい場合には、JAN 優先に設定してご使用ください。

9. お店独自のバーコードを発行したい場合

★チェックデジット (check digit, 検査数字) とは、符号の入力誤りなどを検出するために元の符号に付加される数字のこと。CD, C/D と略されます。

(1) C/Dが付いてない独自コードから作成する

1. 1桁から5桁までの数字を使ってコードを作成する場合 (PLUコード作成)

①JANコードではなく、PLUコードが出来上がります。

例) 独自コードが345の場合：作成結果はそのまま345になります。

C/D自動計算 あり なし
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先 JAN優先 UPC優先
 8または13桁数を見てC/Dを付加
 強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定はC/D自動計算「なし」、桁数調整も「なし」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	00345	PLU	300	1	3:Open and Preset

②レジ登録後使用方法：レジのテンキーで345を打ち込んだ後、PLU/JANボタンを押します。

+

2. 6・7桁の数字を使ってコードを作成する場合 (8桁JANコード作成)

①8桁のJANコードが出来上がります。

例) 独自コードが2345678の場合：作成結果は23456785になります。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	23456785	JAN8	300	1	3:Open and Preset

②レジ登録後使用方法：レジに付いているハンドスキャナでバーコードを読み取ります。



3. 9桁から12桁までの数字を使ってコードを作成する場合（13桁JAN(EAN)コード作成）

①13桁のJANコードが出来上がります。

例）独自コードが2345678912の場合：作成結果は0023456789121になります。

C/D自動計算 あり なし
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先 JAN優先 UPC優先
 8または13桁数をみてC/Dを付加
 強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

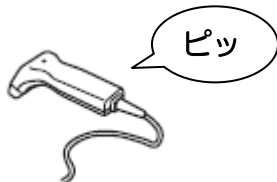
正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定はC/D自動計算「なし」、桁数調整も「なし」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	0023456789121	13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

②13桁のするため、先頭に0を付けてから13桁目のC/Dを付加します。

③レジ登録後使用方法：レジに付いているハンドスキャナでバーコードを読み取ります。



(2) C/Dが付いている独自コードから作成する（独自バーコードを使用している場合等）

1. 8桁の数字を使って8桁 JAN コードを作成する場合（8桁 JAN コード作成）

（予め用意している8桁 JAN コードが、正しいコードなのか確かめる際有効）

C/D自動計算 あり なし
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先 JAN優先 UPC優先
8または13桁数を見てC/Dを付加
強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定を C/D 自動計算「あり」、「JAN 優先」、桁数調整は「8 または 13 桁数を見て C/D を付加」にします。

①8桁目の数字が正しいC/Dの場合は、そのまま8桁コードが出来上がります。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	12345670	JAN8	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録すれば、正しい JAN コードとしてハンドスキャナで読み取りができます。

②8桁目の数字が誤ったC/Dの場合は、コード欄に赤い帯が付きまます。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	12345678	PLU	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録しても正しい JAN コードではないため、ハンドスキャナで読み取ることはできません。

2. 13桁の数字を使って13桁 JAN コードを作成する場合（13桁 JAN コード作成）

（予め用意している13桁 JAN コードが、正しいコードなのか確かめる際有効）

C/D自動計算 あり なし
(桁数が8または13桁ではない場合)

JAN・UPC優先 JAN優先 UPC優先
8または13桁数を見てC/Dを付加
強制0詰(全て13桁JANへ変換する)

正コードとして条件を満たさない場合のコード構築

※保存設定を C/D 自動計算「あり」、「JAN 優先」、桁数調整設定は「8 または 13 桁数を見て C/D を付加」にします。

①13桁目の数字が正しいC/Dの場合は、そのまま13桁コードが出来上がります。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234567891231	JAN13	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録すれば、正しいJANコードとしてハndsキャナで読み取りができます。

②13桁目の数字が誤ったC/Dの場合は、コード欄に赤い帯が付きます。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234567891234	JAN13	300	1	3:Open and Preset

⇒レジに登録しても正しいJANコードではないため、ハndsキャナで読み取ることはできません。

3. 1桁から13桁の数字を使って、強制的に13桁JANコードを作成する場合（13桁JAN(EAN)コード作成）

（他のバーコード作成ソフトから0語のC/Dが付いている13桁JANコードを作成済みでレジに当該コードに登録する際有効）

C/D自動計算 あり なし
 （桁数が8または13桁ではない場合）

なし
0語・13桁揃え
0語・8桁または13桁

JAN・UPC優先

※保存設定をC/D自動計算「なし」、桁数調整設定は「0語・13桁揃え」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	117	強制13桁コード	500	1	3:Open and Preset

▼ ENTER

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	10000000000017	強制13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

4. 1桁から8桁の数字を使う場合は8桁JANコードを作成して、9桁から13桁の数字を使う場合は13桁

（8桁または13桁JAN(EAN)コード作成）

JANコードを作成する場合

（他のバーコード作成ソフトから0語のC/Dが付いている8桁又は13桁JANコードを作成済みで、レジに当該コードに登録する際有効）

C/D自動計算 あり なし
 （桁数が8または13桁ではない場合）

なし
0語・13桁揃え
0語・8桁または13桁

JAN・UPC優先

※保存設定をC/D自動計算「なし」、桁数調整設定は「0語・8桁または13桁」にします。

①1桁から8桁の数字を使う場合

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234565	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

ENTER

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	01234565	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

②9桁から13桁の数字を使う場合

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	1234567895	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

ENTER

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	0001234567895	強制8・13桁JAN	500	1	3:Open and Preset

【既製品のバーコードをレジに登録したい場合】

例：45・49から始まるバーコード（たばこ・飲料等）

C/D自動計算 あり なし なし
 (桁数が8または13桁ではない場合) 0詰・13桁揃え
0詰・8桁または13桁

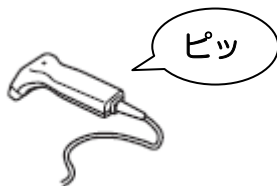
JAN・UPC優先

※保存設定をC/D自動計算「なし」、桁数調整設定も「なし」にします。

枚数	PLU/JANコード	名称	単価	部門CD	エントリータイプ
1	4902201077866	コーヒーミックス	190	1	3:Open and Preset

①8桁または13桁の既製品のバーコードをそのまま使用します。

① ジ登録後使用方法：レジに付いているハンドスキャナでバーコードを読み取ります。



10. FAQ

1. 赤い帯

⇒コードについている赤い帯は C/D が間違っている（画面上又は CSV ファイルを修正してください）
商品名についている赤い帯は文字数が全角 8 文字を超えている（自動調整されます）

2. エラーメッセージ「.Net Framework バージョン…」

⇒.Net Framework バージョンが古い時発生しますので、
CD に入っている.Net Framework をインストールして下さい

3. 日計精算時に SD カードに売上データを書き込む際「データがありません」のエラーメッセージが出る

⇒部門が 20 番以上のコードで設定されている商品が存在する場合。
⇒CSV ファイルの部門欄が 0 または空白のまま作成してレジに登録した場合。
⇒CSV ファイルを再度確認して修正をしてください。

4. 画面上で修正して CSV 保存をするとエラーが発生

⇒管理者権限の確認が必要です。

5. データ作成ボタンを押してもファイルが 1 個しか作成されない

⇒CSV ファイルとファイル作成先が Desktop・Program files・My document になっているかを確認してください。ローカル HDD に新規フォルダを作成して、そのフォルダをレジ専用作業フォルダとして使用するのをお勧めします。

6. バーコードを印字し、レジへ登録済みのデータの中で、読めないコードがある

⇒全て独自の 8 桁 JAN コードなので、保存設定を変更し 0 詰め 13 桁 JAN に変更すれば問題なく読めるので、今の方法を提案してください。（原因は不明ですが、一部の数字のバーの寸法が変形されています）：特に 1、2 から始まるコード控えてください。
保存設定は C/D 自動計算「あり」、JAN 優先、強制 0 詰（全て 13 桁 JAN へ変換する）を選択してください。

7. ラベルのバーコードのサイズを大きくしたい

⇒ソフトのメイン画面で左上の枚数欄にカーソルを当てて、キーボードの Ctrl+Shift+P を同時に押し、メイン画面の右側に「フォーム設定」のボタンが表示されます。
そのボタンをクリックしてフォーム設定を行います。
※項目を使用しない場合は、サイズを 0 に修正

8. フォーマットを変更してラベル発行する時

⇒①Ctrl+Shift+P を同時に押します。
②フォーマット名が表示されます。デフォルトは 1 番のエーワン 65 面です。

9. CSV ファイルの読込後、データ作成ボタンを押してもファイルが作成されない

⇒設定ボタンのファイル作成先を確認してください。SD カードに直に書き込む場合はドライブの順番が設定時と変わっていないかを確認してください。

(SD カードの作成先は F:\SHARP\ECRXXX13\作成済みのフォルダ\PROGRAM フォルダを指定してください)

※PC により SD カードのドライブは異なります。

10. レジから SD カード読込で商品登録をしたが、「ファイルがありません」のようなメッセージ表示され、読込に失敗する

⇒①PLUDATA.FDS と PLUDATA.SDA の2つのファイルが格納されているかを確認してください。

②ファイルは SD カードに作成したフォルダの下の Program フォルダの中にあるかを確認してください。

11. プレビューができない。

⇒何かの理由により、設定ファイルが失われた可能性があるため、再インストールをしてください。

12. レジへ登録する手順を教えてください。

⇒SD カードを PC に接続してください。

(1) ソフトを起動します。

(2) CSV ファイルを選択

(3) 読込ボタンをクリック

(4) データ作成ボタンをクリック

(5) ファイル作成先 (SD カードまたは HDD 内の指定フォルダ) に2つのファイル (PLUDATA.FDS・PLUDATA.SDA) を確認

(6) 上記の2つのファイルを SD カードの中にコピー (作成済みのフォルダの中に4つのフォルダが生成されますので、その内 program フォルダの中に)

(7) SD カードをレジに挿入

(8) レジの「モード切替」ボタンを押す

(9) 6 番の「SD カード」を選択

(10) 3 番の「フォルダ」を選択

(11) 2 番の「フォルダ選択」(作成済みのフォルダ) →「強制解除」を押して戻る

(12) 2 番の「読込み」選択

(13) 1 番の「設定(個別)」選択

(14) 2 番の「PLU/JAN 設定」を選択

(15) 実行する

13. CD キー発行依頼時に製造番号を間違えて入力してしまった場合

⇒そのままだと CD キーの発行が出来ないため、一旦正しい製造番号で CD キーを発行してからお客様の PC に記録されている製造番号を直してもらいます。

製造元へ問い合わせ下さい。

14. CD キー発行依頼も正常に行い、CD キーを登録しても認証できない(インストール番号が正しくない)

⇒インストール番号を PC に記録する際、書込み権限がないため書き込めなかった可能性が高いので、管理者権限でログインされているかを確認してください。

15. 問合せがあった時、事前に確認を行う項目

- ⇒(1)管理者権限でログインしているか
- (2)ログイン ID が英語以外ではないか
- (3).Net Framework のバージョンは 2.0 以上?
- (4)CSV ファイル及びファイル作成先が【デスクトップ・マイドキュメント・プログラムファイル】に設定されていないか
- (5)基の CSV ファイルの各列の順番は正しい? (コード・名称・単価・部門コード)
- (6)Windows XP の場合 SP 2 以上なのか (事前に OS の確認は必須)

16. SD カードに保存された売上データが正しくない(精算レポートと相違)

⇒SD カード書込みメニューから手動にて売上書込みを行っている可能性が高いです。
日計精算時に売上の自動書込み設定が「する」になっているかを確認してください。
設定されていない場合は「する」に設定して、精算時に書き込まれたフォルダに格納されている売上データを参照してください。(手動書込みを行いますと、その都度フォルダが生成されます)

17. レジで SD カードから商品登録を行う際、長時間実行中のまま終了しない。その後エラー (SD カードエラー：エラーが起きました) が出る時は?

⇒書込み中に商品の累積登録数が 10000 個を超えた可能性があります。

18. 日計精算の際、SD カードに売上データを記録してから精算レシートが印字される筈だが、記録中に「商品データが存在しない」のようなエラーが発生して精算レシートも出てこない。

⇒部門は 1 から 20 までしか設定できないのに、CSV ファイルに 20 番以上のコードが書いてあってエラーが発生。

19. インストール時に CD キー発行依頼書を印刷しないで又は印刷はしたがプリンタが接続されてないため出力されなかった場合

⇒デスクトップ画面に生成されたアイコンをダブルクリックしてもらい、CD キー入力画面記載のインストール番号を把握して CD キー発行を行う。

20. インストール時に CD キー (正しいインストール番号によるもの) を登録しても更新に失敗 (エラー) する場合

⇒インストールは管理者権限で行っているかを確認する。途中でログオフし、個人のアカウントでログインしてしまい、更新できなかった事例がある。

21. レジで読み取った時に「単価を入力してください」メッセージが出る場合

⇒CSV ファイルに 6 桁のコードを作成した場合、UPC-E の形態でレジに登録されるため。ソフトの保存設定で C/D 自動計算ありのオプションを変更 (強制 0 詰め 1 3 桁 JAN) で

再読み込みしてからレジに登録（ラベル印刷も）

22. 既にマスタがあるレジにマスタを登録した場合、マスタは入れ替えになりますか？

マスタは追加・更新になります、既に登録されているマスタが消えるといった事はありません。

本ソフトへのご意見、ご要望、機能強化がございましたらホームページ

<http://www.sense-so.com> の info@sense-so.com へご意見をお寄せください。

FAX でお送り頂くお客様は、03-3251-4484 番へお願いいたします。

お客様のご意見をソフトへ反映致しまして機能アップ及び改善を行います。

尚、ご意見に関する回答は特にご要望が無い限り、開発元からの回答は差し控えさせていただきます。